

東海支部愛知地域会 2018年度 第8回役員会 議事録

日時 : 2019年2月1日(金) 16:30~18:30
場所 : 葵丘会館(岡崎市)
出席 : 吉元 学 地域会長 澤村喜久夫 浅井裕雄 西村和哉 森哲哉 各副地域会長
見寺昭彦 伊藤彰彦 各室長
生津康広 村上貴彦 宮坂英司 上原徹也 清水孝昭 関口啓介 各委員長
竹中アシュ 住宅研究会委員長 黒野有一郎 三河地区会長
水野豊秋 監査
オブザーバー : 石田 壽 本部理事 中嶋慶一 賛助会会長
欠席 : 矢田義典 本部理事 久保田英之 直前地域会長 近藤万記子 高嶋繁男 会長補佐
高木耕一 野々川光昭 各室長
中澤賢一 中渡瀬拓司 各委員長 原眞佐実 保存研究会委員長 谷村茂 監査
議長 : 森哲哉 副地域会長
議事録作成担当委員会 : 会員委員会
議事録署名人 : 見寺昭彦 関口啓介

議 事

1. 地域会長挨拶 (吉元 地域会長)

最近委員会などに参加して、委員会や講演などの事業への参加者が少なく感じる。会員が参加しやすくなるようなことを皆さんと共に考えていきたい。

2. 報告事項

(1) 本部報告

①理事懇談会 (1/17) (石田) 資料-1 参照

1) 財政問題について

- ・会員3,000人規模で検討しているが、現状報告のみで具体的議論には至っていない。本部、支部の財況を先ずは把握したうえで議論する予定。
- ・委員会の再構成などを経て2011年の会費値上の時点に比して財政は改善しているが、厳しい状況は変わらない。各支部の状況も相変わらず厳しい。
- ・会員の減少が予想される将来、会費収入減に伴い、委員会構成の見直しと並行して本部・支部の配分比率、また支部運営費各支部配分の固定費(300万/支部)も見直す必要がある。

2) ワールド・モニュメント財団について

- ・歴史的建造物などの保護を目的とした非営利組織で本部はニューヨーク。財団に活動が選定されるとかなりの額の支援があり、世界各地で相当数の実績がある(日本では広島、香川、京都)。
- ・歴史的、文化的価値が高く、保存の緊急性、地域との密着度などの評価基準により選定される。

3) 建築家賠償責任保険事故事例集(構造編)発刊の報告

4) 建築士報酬基準の告示改正に関する説明会が2/25に名古屋商工会議所で開催される。

【質疑】

Q : ワールド・モニュメント財団について各行政は知っているのか。(森)

A : 恐らく知らないのでは。J I Aから周知するとよい。

(2) 支部報告

第8回東海支部役員会 (1/25) (浅井) 資料-2 参照

【補足説明】

- ・ゴールデンキューブ賞は来年度は採択されて実施することになるだろう。

【質疑】

Q : 卒コン事業は将来的にも廃止するのか(生津)

A : 2019年度は予算的に開催できないが、将来どうなるかわからない。

(3) 委員会、地区会、研究会報告

①会員委員会 (生津)

- ・新入会員所属委員会 東福氏、服部氏：研修、永田氏：職能・資格制度、
- ・所属委員会変更 市川氏：事業→ブリテン

②JIA・愛知賛助会（中嶋）

- ・1/18 新年会 会場、食事について若干不満足な部分があったので、次回は見直したい。
- ・2/14 研修見学会 会員7名、賛助会9名参加予定。
- ・4/19 C P D 研修会開催予定(4月役員会後)。現在講演企業募集中。

③広報委員会（伊藤）

- ・ARCHITECTの改革に伴い、HPの情報発信の在り方を今後委員会で議論する予定。

③ブリテン委員会（伊藤）

- ・2/9 会員集会。矢田支部長から方針案が提示される予定。

④研修委員会（宮坂）

- ・2月末に事業委員会と合同開催予定。

⑤職能・資格制度委員会（関口）

- ・「これからの建築とまちづくりー建築基本法学習講演会」(2/20)開催予定

⑥事業委員会（上原）ー資料3 参照

⑦建築相談委員会(清水)

- ・今月相談なし
- ・愛知弁護士会紛争解決センター専門家仲裁人の欠員に対し一人推薦した。

⑧総務委員会（村上）なし

⑨JIA 愛知・大学特別委員会（関口）

- ・1/26 最終講義。54名レポート提出。他学科、他大学など1/3が専門外の受講生で、建築専門外の視点が刺激的だった。

⑩住宅研究会（竹中）ー資料4 参照

- ・3/30 インスタグラマー北川氏講演会

⑪保存研究会（澤村）

- ・1月に新年会を開催し、来年度の事業計画と予算について話し合いを行った。

⑬三河地区会（黒野）

- ・川合健二さんのコルゲートハウスに関し何らかの活動をする必要性を感じている。現状調査の上今後の活動を検討したい。

⑭対行政ワーキンググループ(吉元)

- ・2/22 中部地整主催「公共建築検討会」ー発注形態に関する報告がある予定。JIAからはプロポ、コンペ方式とするよう要請する。

(4) その他報告

①2019年度リフレッシュセミナー参加者（村上）

- ・宮坂氏、近藤氏、村上氏の3名参加

② 役員会議事録について（村上）ー資料5 参照

- ・事務局会議室利用に関するスケジュール管理はとりあえず紙ベースで行なってほしい。
- ・議事録作成手順は「案」であり、今後検討して確定する予定。
- ・議案提出期限の役員会7日前は議案書の書き方チェックのため、議案そのもののチェックではない。（見寺）

- ・議案は実施の2か月前に提出。協議、審議を経て実施してほしい。（見寺）

3. 審議事項

① 事業報告書 「JIA 愛知地域会HP会員名簿他更新」（伊藤）資料-6 参照

Q：愛知議事録のアップは可能か(森)

A：可能で「最新情報」からアクセスできるが、それ以外からだとは有償の改造が必要。要望があれば対処する。ARCHITECTとの連携があるため、HPリニューアルと合わせて検討したい。

⇒承認

② 事業計画書 研修委員会「OM研修会+地球のたまご見学会(4/20)」（宮坂） 資料ー別添 参照

- ・交通費が高いため現地集合とする。三河地区の会員にとってもよい。
- ・参加人数が少なくても成立する収支計画である。
- ・講師交通費、謝金は住宅研究会と折半。

・訂正 美術館入館料 12,000 円→7,500 円。支出総額 67,721 円→63,221 円

【質疑】

Q：現地での移動はどうするのか。(水野)

A：参加者の自家用車に乗り合わせる予定。

Q：ほそば垣、秋野不矩美術館は地球のたまごと関連性がないのでは(浅井)

学生が参加しづらい。

A：ほそば垣は関連性があると考えている。美術館は確かに薄い。学生については何らかの方法で対処。

⇒**現地移動手段が不明確であり、事業としての見学地は地球のたまごのみ。他は自由行動。**

住宅研究会と協議の上メール審議に変更

③ 事業計画書 研修委員会「JIA 古澤弁護士講演会—クライアントのモンスター化を防ぐ」(3/15)
(宮坂) 資料—別添 参照

- ・契約書のサンプルがほしい。(JIA の契約書とは別に)
- ・会員が行きたくくなるような内容のチラシを検討してほしい(吉元)
- ・民法改正に関する文言をいれると集客効果があるのでは。(水野)
- ・チラシが完成したらメール発信をお願いする(見寺)

⇒承認

4. 協議事項

① 支部大会について(日時・場所・人選・予算)

- ・建築フェスティバル、あいちトリエンナーレと関連して開催したい。
- ・長者町の建築フェスのように小規模のブースを借り、一週間～10 日の開催はどうかと考えている。
- ・場所は支部会員のアクセスを考慮すれば名古屋。
- ・期間はトリエンナーレと関連するのであれば 8 月～10 月。
- ・予算は 50 万円程度見込んでいる。パーティーはホテルではなく安価な場所。小負担で有意義な大会としたい。
- ・人選は担当委員会が中心となるが、各委員会の協力を求める(以上 吉元)

- ・開催地は愛知だが、他地域会のメンバーも参加して企画運営したらどうか(浅井)
- ・多地域会の協力を求めるには交通費の問題、多地域会の反対が予想されるので愛知でやるべき(水野)
- ・多地域会メンバーと知己を得る機会。会の団結効果もある。(浅井)
- ・時期的に建築教室と重なるので支部大会の一イベントとして建築教室を組み入れてもらいたい(上原)
- ・以前建築フェスティバルで行なった紙コップや映画のようなイメージを地域会長は描いているのか(森)
- ・特に場所については具体的に考えていない。(吉元)
- ・支部大会の主旨を改めて確認する必要があるのでは。会員間の親睦を図り、主催地域会が他地域会員をもてなす場とすれば、それに沿って企画するべきでは。(生津)
- ・大会は建築家としての勉強の機会、市民に対しての PR などが考えられるが、企画すること自体が建築家としての成長効果がある。企画することが第一で、大会自体は第二と考える。それが J I A にとってプラスに働く。(浅井)
- ・前回の支部大会の企画メンバーは何人くらいだったか。(森)→7、8 名
- ・大会企画運営を通じて会員の今後の J I A 参加意識が変わるのでは。戦略的に考えるべき(浅井)
- ・企画運営参加意義を第一とするならばトリエンナーレとの関連はなくても良いのでは。一方市民 PR の機会ととらえるならばトリエンナーレとの関連に重きを置く考えもある。どちらの方針かを決める必要がある。あと半年しかないので実行委員長を決めないことには前進しないと思う。(見寺)
- ・内向き、外向きどちらもある。我々の議論を公開すれば自然に市民に向けられたものとなり、トリエンナーレは好機となる。(吉元)
- ・2020 年全国大会の開催地が東海支部との声あり。2 年連続するとなれば財政的にも人的にも大丈夫か。2020 年に全国大会を開催するならば、2019 年の支部大会の中止の可能性もあるのでは。(石田)
- ・次回役員会までに各役員を集め、実行委員長を決める必要がある。(森)

決定事項 会長、副会長で協議の上実行委員長人選し、次回役員会にて報告する。

5. 専決事項

- ・なし

6. その他報告

①認定まちづくり適正建築士・ADR調停人について（吉元） 資料-7 参照

- ・興味ある方は受講(有償)の上資格を得てほしい。
- ・ADR調停人が和解に建築士がかかわることは弁護士法に抵触するのではないか(関口)
- ・ADR法ができてその問題は解決していると理解している。(清水)
- ・本部まちづくり委員会連委員長が関係している「日本建築まちづくり適正支援機構」の活動を委員会の場で紹介した。活動を各支部に拡散することを考えており。JIAとは関係はなし。興味ある方は吉元または黒野まで問合せしてほしい。

7. 監査意見

- ・今回の役員会は役員の発言が少なく感じた。活発な意見交換を求める。また、研修委員会提案の審議では不要な意見が目立った。検討不足であればメール審議とすればよい。
- ・支部大会、全国大会に企画運営は大変だと思うが頑張してほしい。(水野)

次回役員会 2019年3月1日(金) 17:30~19:30 (大光電機ショールーム)

※17:30 集合 集合場所：大光電機ショールーム

住所：名古屋市東区泉 2-28-23 高岳 KANAME ビル 1F

TEL：052-930-6163

地下鉄桜通線「高岳駅」徒歩1分

役員会終了後 大光電機ショールーム見学 (19:30~)

次回議事録担当委員会：広報委員会

次回資料提出締切日：2018年2月25日(月)

※2019年5月に開催予定の事業計画などがある場合は次回役員会に協議事項としてあげてください。

資料提出先：村上貴彦 総務委員長

議事録作成者：会員委員会 生津康広

議事録署名人：見寺昭彦

議事録署名人：関口啓介